

《埼玉協同病院だより》

ふれあい

2011年5月1日

発行: 埼玉協同病院
〒333-0831 川口市木曾呂1317
Tel.048-296-4771
Fax.048-296-7182

283

おもな記事●希望の光が生まれました
放射線科医師紹介／患者会紹介
健康マメ知識／虹の投書箱だより／連絡バス時刻表



新入職員あいさつ

今年度、新たに入職した職員は、医師3名・保健師10名・助産師3名・看護師18名・薬剤師1名・診療放射線技師1名・臨床検査技師1名・臨床工学技師2名・管理栄養士1名・視機能訓練士1名・理学療法士3名・作業療法士3名・医療相談員2名・事務6名です。どうぞよろしくお願いいたします。

くさの けんじ 草野 賢次 (医師)

私が医療生協さいたまに入職したきっかけは、両親の影響が大きかったように思います。私の両親は福岡県の民医連で医療人の基礎を身につけたそうです。両親が懸命に地域医療のために働く姿を見て育った私は、自分の理想とする医療は民医連にあると確信しました。学生時代の埼玉協同病院見学・実習で印象に残ったのは、組合員の方々がとても積極的で笑顔で活動されている姿でした。

まだ分らない事やできない事ばかりですが、日々成長して1日でも早く地域の方々の健康づくりに貢献できるよう努力してまいります。これからよろしくお願いいたします。



入職した研修医3名

くりに貢献できるよう努力してまいります。これからよろしくお願いいたします。

すみなか みなみ 住中美奈弥 (助産師)

皆さんはじめまして。私は助産師として埼玉協同病院に入職いたしました。入職したきっかけは、大学時代に実習でお世話になったことです。スタッフの皆さんに丁寧に指導していただいたこと、そして、スタッフの皆さんが明るく楽しく働いている姿を見て、素敵な職場だと思いました。

また、病院見学で組合員さんの取り組みを見学した際に、病院と組合員さんが協力して健康について取り組んでいることを知り、私も一緒に健康を守っていききたいと思います。

これから助産師として、新しい家族を迎えるサポートがしっかりできるように、そして一職員として皆さんと一緒に健康づくりに励んでいきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

たかの みずき 高野 瑞貴 (管理栄養士)

私が医療生協さいたまに入職した理由は地域の方との「つながり」の強さに魅力を感じたからです。埼玉県内20万人以上の組合員の方をはじめとした地域の方々に笑顔になってほしいと願って入職させていただきました。

管理栄養士としてはまだまだ未熟ですが、先輩職員の方々や地域の皆様に助けていただき、食を通して健康な生活を送るお手伝いをさせていただきたいと思っています。毎日少しずつでも皆様とつながっていききたいと思います。よろしくお願いいたします。

ほさか ゆりえ 保坂ゆり恵 (医療相談員)

医療生協さいたまは、平和や貧困問題への取り組みなど、様々な社会問題を積極的に考えている組織であることを知りました。そこで、そのような課題へ取り組む医療相談員の力をこちらで大いに発揮できるのではないかと、入職を希望しました。

戦後最大とも言われる困難な状況に日本が直面しているこの時に、医療福祉従事者として新社会人になります。今、過去の反省と変革が求められていると思います。先輩方、組合員さんのご協力をいただきながら、立派な医療相談員として成長できるように努力します。そして、地域や日本のよりよい変革に貢献していきたいです。

皮膚科よりお知らせ

5月より関医師の午後受付を開始します。
金曜日 14時～16時受付
14時30分から診察

希望の光が産まれました

助産師 高田 綾野



福島で被災した妊婦さんが、3月26日陣痛で入院され、ご家族に見守られた中で無事に女の子を出産されました。

こわばった表情で憔悴ききつて来院されたのは地震から6日後。妊婦さんは不安な中、埼玉県へ避難する途中もお腹にいる赤ちゃんには「大丈夫だから、一緒に頑張ろう」と話しかけていたそうです。

赤ちゃんは希美ちゃんと名づけられました。同じような境遇の妊婦さんへエールを送る気持ち

ちを含めて、このお名前を考えられたそうです。

私たち助産師も大切な命の誕生に立会い、お手伝いさせていただけたことに感謝いたします。今まで体験したことのない地震で、病院自体も停電対策、節電などにより、寒さと緊張でスタッフも極限状態でした。“自分たちができること”を合言葉に、被災地へ支援に向かう助産師もいました。

何十年も続きます。日本、そして私の福島はどうなってしまうのでしょうか。

ところで私は医師になって2、3年は放射線診断の勉強をした後、今までの経験、知識を生かし放射線治療医になるつもりでした。ところが、診断の勉強をしている内その進歩の速さと奥深さにはまり込み現在に至っています。主にMRIとCTの読影とちょっとですがIVR (Interventional Radiology) をしています。

IVRはびったりした日本語訳がなく、わかりやすく言うのと診断用のX線を用いてとても高度なテクニックを駆使し、結果的に浸襲性の少ない診断や治療をすることです。たとえば癌の近くまで栄養する血管内に細いカテーテルという管を入れ、抗がん剤を注入したり、その血管を詰める癌を兵糧攻めにしたり、逆に詰まった血管をバルーンで掘ったり、ステントを留置したりします。また、喀血、消化管出血、外傷による臓器破壊、骨盤骨折による出血、産後の出血などを、出血している血管近くまでカテーテルを進め塞栓物質で止血したりします。さらに、米国では死亡率第3位といわれているエコノミー症候群、いわゆる肺塞栓症ですがこの病気が有名な日本の若いサッカー選手もなった様に年齢を問わず誰にでも起こりえますが、その予防に下大動脈にフィルターを留置したりします。子宮筋腫の子宮動脈塞栓術、精索静脈瘤塞栓術

放射線科医師紹介



はじめまして、こんにちは。4月より放射線科診断医として赴任しています。この度は大変な災害で皆様ご苦労されていることと思います。私も実家がいわき市なので、親族一同昨日(3月31日現在です)まで私の家と近くのホテルに避難していましたが、仕事上召集令があり、危険な地に全員戻って行きました。私は医師になる前に仙台で原子力の勉強をしていました。私の第2の故郷である仙台、女川市、石巻市、松島町、塩釜市の無残な姿をみると、夢のようなことで大変悲しくなります。高校生の時に原子力船を作りたく、その後大学、大学院で量子力学と原子力の勉強をしていきましたが、勉強をする内何となく漠然とした不安があり、医師を目指すことになりました。その後、原子力船むつ事故、チェルノブイリ、スリーマイル島、もんじゅ、東海村、そして今回すぐ近くで現実のものとなってしまいました。確実に燃料棒は破損しており、燃料ペレットが溶解し底に一塊となり、臨界に達する確立も零ではありません。最悪の事態を免れてもこれまでの事例から放射能汚染は

これからも、地域一体となり、産み育てていく環境を整え、母子ともにすこやかに過ごされますようサポートさせていただきます。

等、他にも紹介したいのが数々ありますが、とても書ききれないのでこの辺にします。あくまでも裏方の仕事で、表舞台にはでてこないのが馴染みがない仕事と思われそうですが、これからも皆様の診療の土台として支えていきますのでよろしくお願いたします。

ひとりで悩まず みんなで解決! 「みんなよつといで! こまりごと相談所2011」

この相談所の開催は今年で3回目になります。「こまりごとを一人で抱え悩んでいる方」に「労働」「生活保護」「法律」「医療」「介護」「納税」「多重債務」「子育て」等 専門家による無料相談をおこない「住んでよかった!」と思えるまちづくりを目指します。相談を御希望の方はもちろん、炊き出しや案内のボランティア・フリーマーケット・賛同金などの「自分ができる参加」の協力を呼びかけていきます。

2011年5月22日(日) 10:00~14:00
川口西公園(リアパーク 川口駅西口前)
問い合わせ先:
埼玉協同病院組合員活動課
☎048-296-8180



【診療科】内科 / 消化器科 / 血液透析

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	—
午後15:00~18:00	○	○	○	—	○	—	—

【休診日※一般外来】日曜日、祝祭日、木・土の午後
※別に透析スケジュールあり
【HPアドレス】http://www.suda.or.jp

院長：須田 雅一

当院と医療連携している 10 開業医さんのご紹介 須田医院



須田雅一院長

埼玉高速鉄道鳩ヶ谷駅から鳩ヶ谷市役所方面に歩いて5分のクリニックです。兄弟で二診体制の外来診療を行っております。兄の私が腎臓、弟は消化器が専門ですが、何でも気軽に相談してもらえよう内科全般に対応しています。また併設の透析センターでは、患者さんの小さな体調の変化も見逃さぬため、私は毎日じっくりと回診をしています。先代が内科診療所を開いてから50年、一貫して地域の皆さんの親身になるかかりつけ医をめざしています。これからも地域医療懇談会や研究会に積極的に参加し、スムーズな連携をとるべく、診療所としての適切な役割を果たしていきます。

※「ふれあい」に掲載の開業医さんへご受診の際は、受診前に必ず問い合わせをお願いします。

『のびる会』は脳卒中患者とその家族の集まりです。発足してから今年で30年目になる歴史のある会で、現在、会員数約45名で活動をおこなっています。1年間の主な活動内容は、定期総会、5月には近郊への日帰りバスハイク、夏の勉強会、患者会交流集会、新年会、昼食交流会などがあります。秋には東伊豆の潮風館への一泊旅行

患者会紹介 のびる会(脳卒中)

もおこなっています。旅行は、会のメインイベントです。医師や看護師、リハビリ科の職員も参加して、楽しく皆で交流を深める機会

になっています。この他に、年4~5回の会報の発行もおこなっています。のびる会は、同じ疾患を持ち、悩みを持っている人たちが気軽に何でも意見交換や相談できる場です。新規会員大募集しています!! 皆さんも一緒に参加してみませんか? 会費:年1500円 *問い合わせ先:リハビリ科 遠藤

外反母趾 痛い! 外反母趾の対処法

整形外科医長 関根 康雄

夏はオシャレな靴を履いて歩きたくなる季節ですね。でもハイヒールなどを履くと足の親指の付け根が当たって痛い...そんな症状に悩む女性が増えているのだとか。実は、明治時代になって靴が普及してくるまでは外反母趾は存在しなかったそうです。

つまり外反母趾には靴が大きく関係している

ようです。デザインや価格で選んでしまいがちな靴。でも外反母趾を予防するには、自分の足にあった靴を選ぶことが一番大切です。

高いヒールやつま先が細いものは、足が前すべりし、安定感が不足してしまうため好ましくありません。靴の中で足が動くのを防ぐため、足を包み込む深めのデザインか甲ベルトやひも



外反母趾の患者様の写真

付きのものが適しています。足の痛みだけでなく軽視していると全身に悪影響を及ぼしてくるのが外反母趾です。気になったら早めに整形外科を受診してください。

介護者教室のご案内

りなど、病院の各スタッフそれぞれが介護についての講義・質疑応答をさせていただきます。皆さんの参加をお待ちしています!!

日時: 6月15、22日(水) 13:00~16:45
場所: B館5階会議室
参加費: 500円(資料代として当日いただきます)
参加メ切: 6月10日(金)まで
申し込み・問い合わせ: 048-296-4771(代)
埼玉協同病院D館5階病棟 滝澤・山本

※若干の人数制限がありますので、事前に申し込みの連絡をお願いいたします。

虹の投票箱 だより 「治って嬉しい」小児科の患者様より

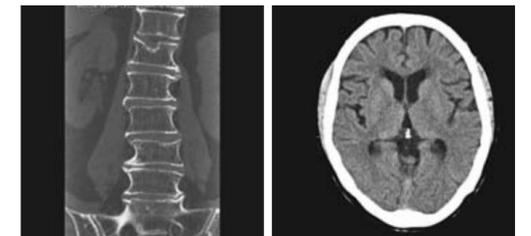
【答】今回は小児科に入院されていた10歳のお子様とお母様から嬉しい投書をいただきましたのでご紹介いたします。お母様からは「初めての入院、しかも長い入院生活でした。最初は病名すらわからず、その後、聞いたこともない病名には私も娘も何回も心が折れました。そんなとき小児科の先生方、看護師の皆さんが励ましてくれました。そして救ってくれました。治していただき本当に嬉しかったです」。お子様からは「熱が高くて両足が痛くて苦しかったです。小児科の先生たちが治すために、一生懸命に検査や治療をしてくれました。薬を飲んでいたらついに治りました。でも、ずっと寝ていたので歩くことも立つこともできなくなり、リハビリの先生が来てくれました。薬が減るにつれて、病室からプレイルームへ、そしてリハビリ室に出られるようになりました。リハビリ室は私が予想していたよりも広かったです。私は先生と看護師さんにお世話になり、色々な思い出ができて嬉しかったです。私の将来の夢は、優しく元気な小児科の看護師になりたいです。先生、看護師さん、リハビリの先生ありがとう。」

協子ちゃんの健康マメ知識

第113回

●CT検査とは●

CTとはコンピュータ断層撮影の略で、体の断面を任意に観察できるものです。今回ご紹介させていただくのはほんの1例の画像です。頭や肺、腹部の検査などで多く用いられています。また、場合によっては精密検査として骨の観察や造影剤を用いることにより血管の観察も可能です。短時間で得られる情報量が非常に多いため救急病院にはなくてはならない機器です。近年は肺癌の早期発見、内臓脂肪の測定など健診分野でも活用されています。検査に関するご質問等ございましたら、お気軽



腰椎椎体(骨)CTの画像

頭CTの画像

に放射線科または検査担当者にお尋ねください。患者様によりよい検査を提供できるよう努力して参ります。どうぞよろしくお願いたします。

